

2022/10/31（月）

朝の礼拝

聖書 マタイによる福音書 5章 3-5節（新約聖書6頁）

心の貧しい人々は、幸いである、
天の国はその人たちのものである。
悲しむ人々は、幸いである、
その人たちは慰められる。
柔和な人々は、幸いである、
その人たちは地を受け継ぐ。

英和の幸い

今日は10月最後の日です。大昔ケルト人は冬を迎える晩秋の頃を生と死の境目と信じていました。そして死んだ人が里帰りするのを迎えていました。ただ悪霊も一緒に紛れ込んでくるのを恐れて、根菜でランタンを作って火を灯しました。

さてそのケルト人のお祭りをキリスト教の暦に取り入れたのがハロウィーンです。Halloween とは The eve of All Hallows の意味です。全ての聖人の魂を祈る日（All Saint's Day = 11月1日）の前日という意味です。こうしてお祭りは残りました。

しかし1517年のこの日、10月31日にドイツのカトリックの修士マルティン・ルターが「95箇条の論題」をお城の教会の扉に掲示しました。つまり宗教改革が始まった日、プロテスタント教会が誕生した宗教改革記念日なのです。

時と共に、集う人によって同じ日でも幸いを求める意味が変わっていきました。しかしイエスが伝えているのは一つです。「神様から幸いといわれる人になりなさい」ということです。英和の幸いは神様に愛され感謝し、互いに慰め励ます学校生活です。

(しばらく黙想しましょう)

わたしたちにふさわしい時、ふさわしい幸いを与えてくださる主よ、秋が深まり実りの時を迎えました。厳しい冬を迎える前に、過ぎし年月の恵みに感謝しふりかえるのはあなたの御心に適うことです。今週は讃美歌コンクール、収穫感謝礼拝とあなたへの喜びと感謝を献げる時を迎えます。そして11月26日には英和女学院創立記念日を迎えます。友だちと出会えたこと、喜びも悲しみもあなたが共にいて見守ってくださっていることに感謝し過ごす幸いを覚えます。今日一日もすべてをあなたに委ね、よき学びのうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン